

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第15週 (ARIのみ第14週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (15 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：つつが虫病 1 例。
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、水痘 (入院例) 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	肺結核	なし
			80歳代	男	結核性腹膜炎	発熱
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日向	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O103(VT1)
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	アメーバ赤痢	小林	60歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見、その他
	水痘(入院例)	都城	0~4歳	男	臨床診断例	発熱、発疹、その他
	梅毒	都城	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 300 人(定点当たり 20.0)で、前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘であった。また、第14週の急性呼吸器感染症の報告総数は937人(定点当たり33.5)で、前週比85%と減少した。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は37人(2.5)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約0.9倍であった。年齢群別は4歳から8歳が全体の約7割を占めた。

【感染性胃腸炎】

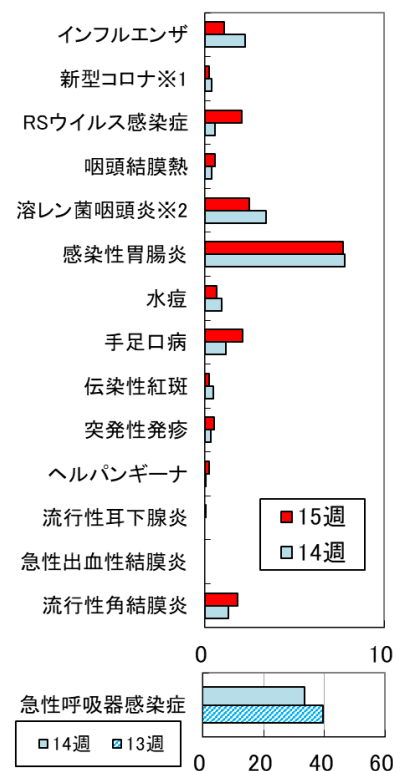
報告数は116人(7.7)で、前週比99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約0.8倍であった。年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

【手足口病】

報告数は32人(2.1)で、前週比178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約1.1倍であった。年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

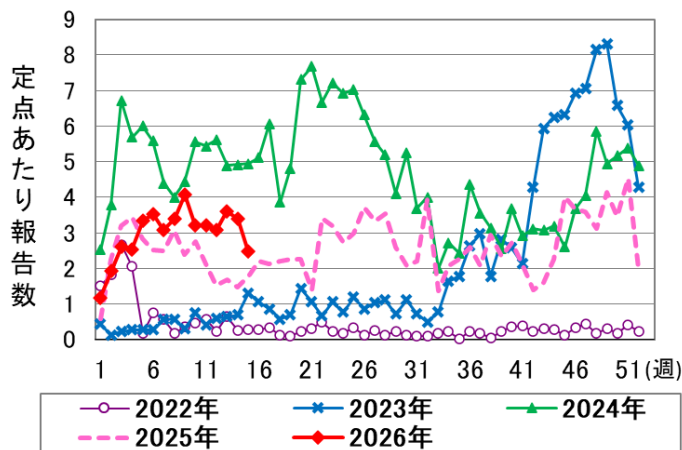
《前週との比較》



定点あたり報告数

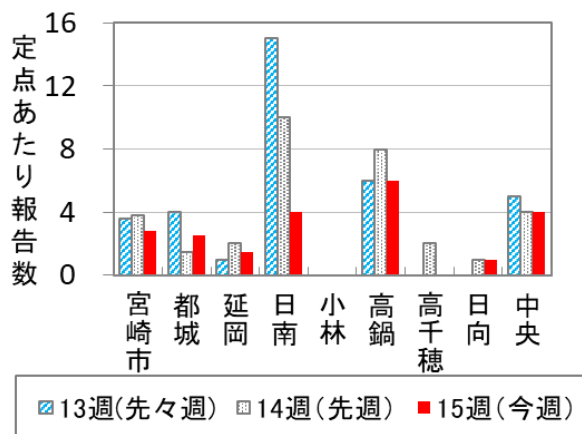
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

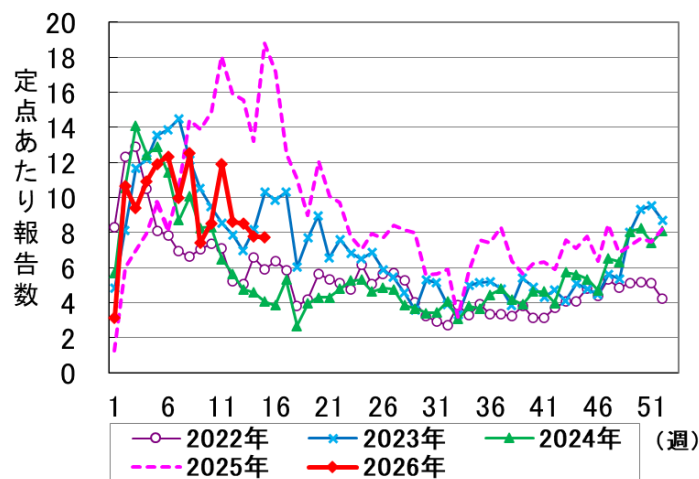


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)

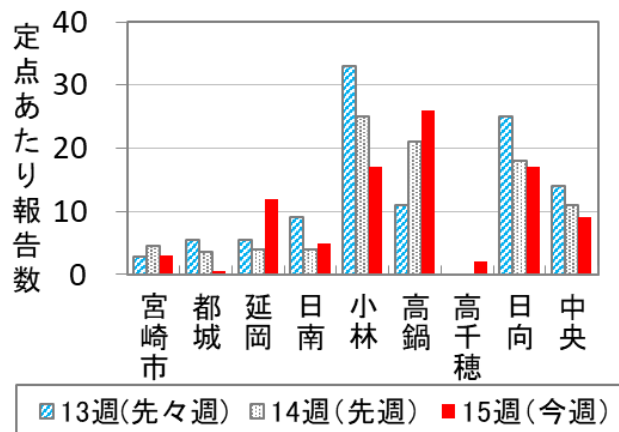


感染性胃腸炎 発生状況

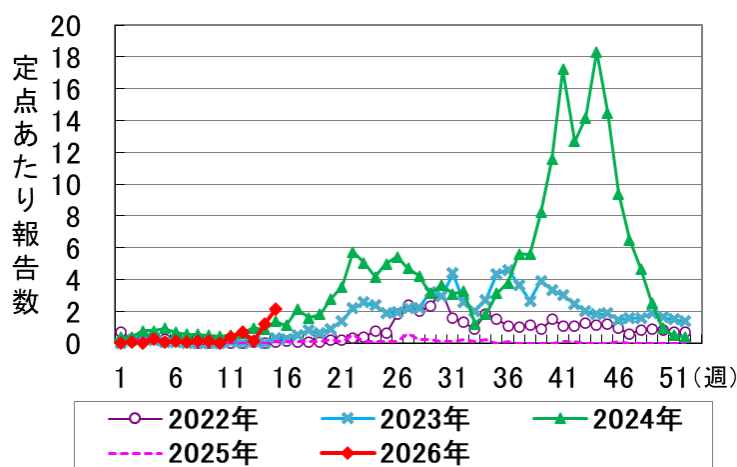


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)

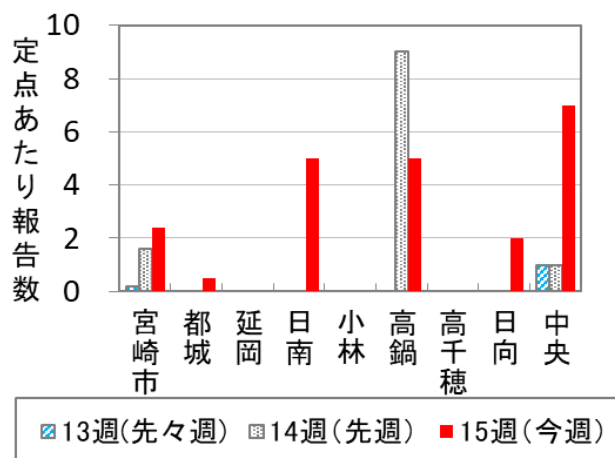


手足口病 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	水痘(2.0)
日南	水痘(1.0)、手足口病(5.0)
小林	水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.0)
高鍋	感染性胃腸炎(26.0)、手足口病(5.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)、手足口病(7.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection : ARI)
(2026年第14週:3月30日～4月5日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	1
		山形系統	0
新型コロナウイルス		1	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	1	
	2型	1	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		4	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		8	
受付検体数		16	

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス
検体について、急性呼吸器感染症サーベイ
ランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実
施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、
呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上
の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性
的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来
症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかつ
た検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 4 月 13 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC (OUT:HUT)	5～9歳	女	2026.03.05	発熱、下痢	便	2026.03.16
Salmonella Oranienburg (O7:m,t:-)	10歳代	男	2026.03.13	発熱、腹痛、下痢	便	2026.03.23

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvovirus B19	5～9歳	女	2026.02.24	伝染性紅斑、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2026.04.06
Rhinovirus	5～9歳	女	2026.02.24	伝染性紅斑、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2026.04.06
Human herpes virus 6	0～4歳	女	2026.02.26	手足口病、37.8℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2026.04.06
Influenza virus B (Victoria Lineage) [※]	10歳代	男	2026.03.17	インフルエンザB、38.7℃、気管支炎、胃腸炎、下痢、咽頭炎	鼻汁	2026.04.13
Influenza virus B (Victoria Lineage) [※]	10歳代	男	2026.03.17	インフルエンザB、37.8℃、頭痛、気管支炎、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.04.13
Influenza virus B (Victoria Lineage) [※]	10歳代	不明	2026.03.17	インフルエンザB、38.7℃、気管支炎、関節痛	鼻腔ぬぐい液	2026.04.13

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

📊 全国 2026 年第 14 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	220 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51 例				
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	7 例	エムボックス	6 例
	コクシジオイデス症	1 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	2 例	レジオネラ症	25 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例
	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	57 例	水痘(入院例)	14 例
	梅毒	152 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	97 例	麻しん	34 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 73%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 85%と減少した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,058 人(2.2)で前週比 88%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.1)の約 1.1 倍であった。北海道(5.1)、鳥取県(5.1)、福岡県(5.1)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 10,481 人(4.6)で前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(5.5)の約 0.8 倍であった。愛媛県(9.3)、岐阜県(9.2)、島根県(8.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2026年3月>

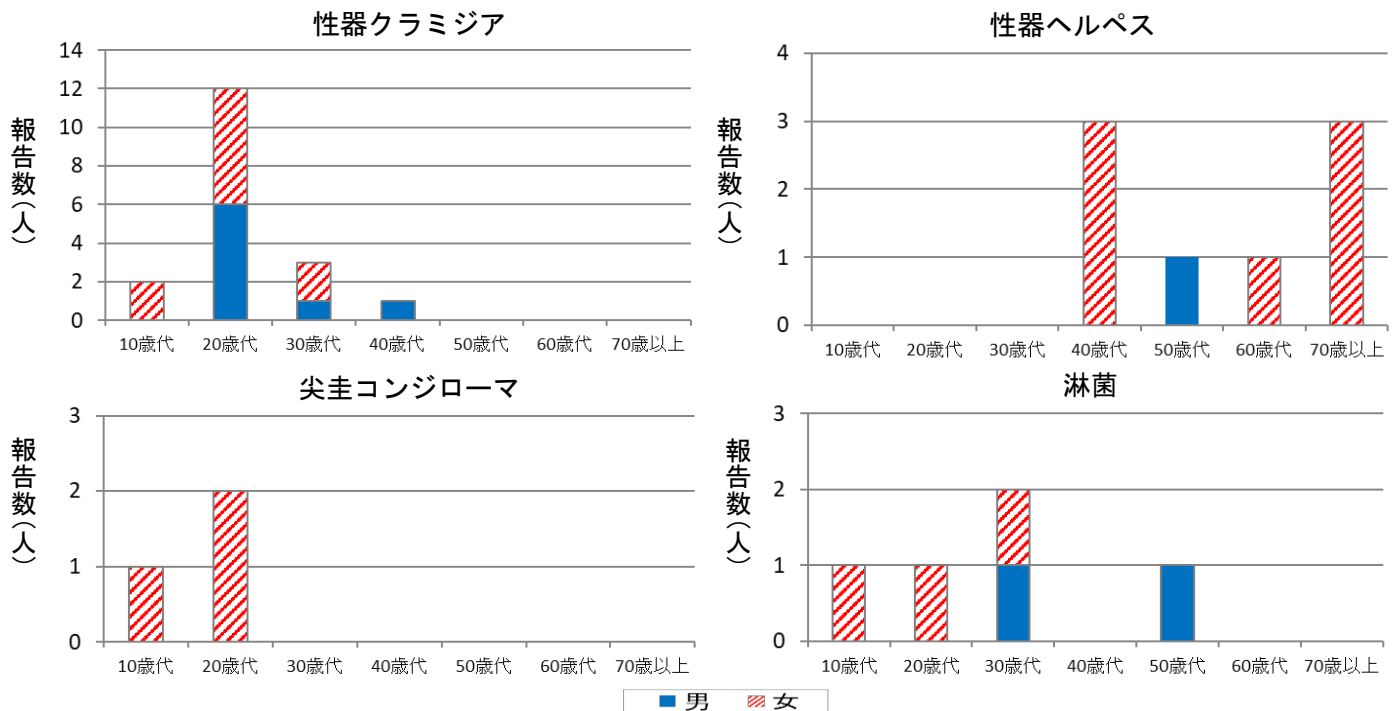
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比148%と増加した。また、昨年3月(2.5)の約1.0倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人(1.4)で、前月の約1.1倍、昨年3月の約0.9倍であった。
20歳代が全体の約7割を占めた。(男性8人・女性10人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約2.0倍、昨年3月と同率であった。
(男性1人・女性7人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、昨年3月の約3.0倍であった。
(女性3人、前月報告なし)
- 淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月及び昨年3月の約1.7倍であった。(男性2人・女性3人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,326人(4.5)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,293人(2.4)で前月比109%、性器ヘルペスウイルス感染症958人(0.99)で前月比115%、尖圭コンジローマ452人(0.47)で前月比100%、淋菌感染症623人(0.64)で前月比110%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で、前月比117%と増加した。また、昨年3月(1.7)の約1.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人(3.0)で、前月の約1.2倍、昨年3月の約1.8倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,278人(2.7)で、前月比97%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,241人(2.6)で前月比97%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症31人(0.06)で前月比120%、薬剤耐性緑膿菌感染症6人(0.01)で前月比50%であった。

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第15週(04月06日～04月12日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	63	30	10	9	6					1	4
	定点当り	2.25	1.07	1.11	2.25	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	11	7	3				2			1	1
	定点当り	0.39	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.50	0.50
RSウイルス感染症	報告数	9	31	4	8	14					5	
	定点当り	0.60	2.07	0.80	4.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	9	8					1			
	定点当り	0.40	0.60	1.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	51	37	14	5	3	4		6		1	4
	定点当り	3.40	2.47	2.80	2.50	1.50	4.00	0.00	6.00	0.00	1.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	117	116	15	1	24	5	17	26	2	17	9
	定点当り	7.80	7.73	3.00	0.50	12.00	5.00	17.00	26.00	2.00	17.00	9.00
水痘	報告数	14	10	2	1	4	1	1				1
	定点当り	0.93	0.67	0.40	0.50	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	18	32	12	1		5		5		2	7
	定点当り	1.20	2.13	2.40	0.50	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	2.00	7.00
伝染性紅斑	報告数	7	4					2			1	1
	定点当り	0.47	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00	1.00
突発性発しん	報告数	5	8	4		3		1				
	定点当り	0.33	0.53	0.80	0.00	1.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	4	3			1					
	定点当り	0.07	0.27	0.60	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
流行性角結膜炎	報告数	8	11	3	4	4						
	定点当り	1.33	1.83	1.00	2.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数											
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

2026年 第14週(03月30日～04月05日)

		第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1106	937	250	89	155	68	47	99	27	107	95
	定点当り	39.50	33.46	27.78	22.25	51.67	34.00	23.50	49.50	13.50	53.50	47.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～15週 保健所受理分)

2類感染症	結核	39例(4)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(1)										
4類感染症	A型肝炎	1例	つつが虫病	4例(1)					日本紅斑熱	1例		
	レジオネラ症	2例										
5類感染症	アメーバ赤痢	1例(1)	クリプトスポリジウム症	1例					劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例		
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例					水痘(入院例)	4例(1)		
	梅毒	15例(1)	播種性クリプトコックス症	2例					破傷風	1例		
	百日咳	29例	麻疹	1例								

()内は今週届出分、再掲